

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

令和2年3月
【担当及び関係課】道路交通局道路部街路課

計画の名称	連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進（防災・安全）
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）
計画の目標	

連続立体交差事業を行い、踏切事故や踏切遮断による渋滞を解消し、安全・安心な地域づくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	
・対象事業区域における広島市域の踏切遮断率[24時間]を26.8%（H26）から0%に低減する。	

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	（H26末）	（H28末）	（H29末）	
踏切交通遮断率（％）を整備前後で比較する （踏切交通遮断率）＝（日踏切交通遮断時間）／24時間	26.8%	26.8%	-※	※H29末の目標値は、事業の完了が見込めないため未定としているが、事業完了後の最終目標値は0%である。

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H28	6 百万円	○基幹事業 ・JR山陽本線・呉線 東部地区連続立体交差事業の見直し検討を行った。 関連道路整備に必要となる用地の取得を行った。
	H29	18 百万円	
	合計	24 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	○基幹事業 ・JR山陽本線・呉線 事業計画の見直しを行っている。		
目標値の実現状況	指標： 踏切交通遮断率（％）		
	中間目標値（H28末）	最終目標値（H29末）	目標値と実績値に差が出た要因 新たに策定した整備計画（連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進（交通拠点連携集中支援））に移行したため、評価は実施していない。
	26.8%	—	
	中間実績値（H27末）	最終実績値（H29末）	
	—	—	
	指標：		
	中間目標値	最終目標値	目標値と実績値に差が出た要因
	中間実績値	最終実績値	
要素事業に併せて実施した他事業の 効果の発現状況、 及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況			

3. 今後の方針

新たに策定した整備計画（連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進（交通拠点連携集中支援））に移行し、事業着手に向けて関係機関との協議調整を行うとともに、都市計画変更及び事業認可変更の手続きを行う等、事業推進に努める。

4. その他特記事項